

学校の沿革概要

明治 8 年 小田幸滝打信雄氏の居宅を借り田幸小学校創
明治 13 年 大田幸信貞に移転
明治 28 年 校舍新築
大正 6 年 糸井尋常小学校を併合し田幸尋常高等小学校と改称
昭和 16 年 田幸国民学校と改称
昭和 22 年 田幸村立田幸小学校と改称
昭和 29 年 三次市立田幸小学校と改称（町村合併）
昭和 42 年 校歌制定
昭和 50 年 創立百周年記念式挙行
昭和 63 年 新校舎建築、旧校舎撤去 給食調理場新設
平成 2 年 第 41 回広島県小学校視聴覚教育研究大会
平成 11 年 屋内運動場新築
平成 15 年 教材樹木の植樹
平成 16 年 第 18 回広島県小学校道徳教育研究大会 花壇造成
平成 17 年 観察学習池造成 青少年赤十字加盟
平成 18 年 「ポプラひろば」造成
平成 18・19 年度広島県青少年赤十字推進指定校
平成 19・20 年度文部科学省道徳推進事業指定校
平成 21 年 広島県教育奨励賞受賞
平成 27 年 三次市小中一貫教育モデル地域指定校
～平成 29 年

学校の施設概要

(1) 敷地面積 11,470 m²
(2) 校舎面積 2,022 m²
(3) 屋内運動場 442 m²
(4) 給食共同調理場 351 m²
(5) 北緯 34 度 45 分 21 秒,東経 132 度 54 分 4 秒, 標高 182.1m

学校経営計画

(1) 学校教育目標

「ふるさとを愛し 主体的に学ぶ ポプラっ子の育成
～タンポポのように、強く、美しく、軽やかに～」
① 強 く：ねばり強く努力する子
② 美 し く：美しい挨拶ができる子
③ 軽やかに：軽やかに行動できる子

(2) 使命・存在意義

○自分たちが育った地域に愛着をもち、地域に貢献しようとする志をもった児童を育成する。
○夢や目標の実現に向かって、他者と協力し、主体的に学び続ける児童を育成する。

【たんぼほの学校 ～元校医 中村伸久氏のねがい～】

学校のすぐそばに「慈医 この地に在り」と刻まれた石碑が立つ。碑は昭和 12 年より無医村であった田幸に半世紀にわたって医師として献身された中村伸久医師の功績をたたえて、地域によって建てられたものである。その間田幸小学校の校医でもあり、田幸の未来を担う児童たちに、瑞宝章を受けられた記念として昭和 58 年「ねがい」の詩碑を校庭に建立。親交の深かった、たんぼほ詩人・坂村貞氏に作詩を依頼。
「たんぼほの根のように強くなろう たんぼほの花のように美しくなろう
たんぼほの種のように軽くなろう たんぼほの花言葉のように幸せをまきちらそう」
平成 19 年度に、この詩に曲ができ、「第 2 の校歌」として歌い継がれている。

【田幸小のポプラ】

ポプラは校歌にも歌われ、田幸小のシンボル。そのポプラの元は大正 6 年に尋常高等小学校が発足記念に、当時の児童たちによって植えられた。しかし、昭和 23 年台風によって倒れ、ポプラ 2 世はひこばえで育てられた。新校舎建築で 2 度植えかえられたが、これも平成 11 年の台風によって倒れた。平成 15 年の台風 18 号で倒れるも生き残っていた校舎前にあったポプラ 3 世は、令和元年、樹木内部の腐朽により児童の安全に配慮し伐採された。現在のものは築山側のポプラ 4 世と、平成 21 年、中村伸久医師の功績を記した絵本『ライオン先生の聴診器』発刊記念に植樹されたものである。
台風で倒れ、翌年には枝も葉もなかった裸の幹も、また新芽の茂りにおおわれはじめ、その梢は空に広がっていく。天をつく勢いで伸びるポプラは、子どもたちのたくましい成長をあらわしている。倒れても切られても、その株には必ず新芽が出てくる力強い根性をもっている。それがポプラっ子の姿である。
校門に「ぼぶらのなかま」碑（中村伸久書）が建つ。ポプラの花言葉は「勇氣」である。

(3) 経営計画（学校経営全体構想図）



中期経営目標及び短期経営目標

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための取組・方策	評 価 項 目
確かな学力	主体的、対話的で深い学びを推進し、学力の向上を図る。 【思考力】 【表現力】	○学び合いを通じた思考力・判断力・表現力の育成	○訊き合い、聴き合う力を育てる。 ・授業の中で、児童が考えを交流する場を設定し、「問い」を持ちながら聴くことができるようにする。 ○各教科の見方・考え方を育む。 ・単元構想シートを活用し、本質的な問いに基づく授業づくりを進める。 ○振り返りを充実させ、学びを深める。 ・振り返りの視点を示し、本時の学習を、次の学びに活かせるようにする。	・児童アンケート「友達の意見を聞いて、気づいたことや考えたことを発表している」の項目において、肯定的評価を85%以上にする。 ・国語科、算数科テストの学期平均が70点以上、または前学期の平均点を上回る児童を90%以上にする。
豊かな心・健やかな体	自他の気持ちを考え、進んで行動できる児童を育てる。 【判断力】	○課題に気づき、改善のための目標を設定して、やる抜く子の育成	○相手意識、目的意識をもって表現できる子の育成 ○児童自ら場に応じた挨拶をすることができるよう、児童会を中心に挨拶運動に取り組む。 ○走力の向上を目指す。 ・記録更新の目標を立て、休憩時間や体育の授業を通して体力向上を図る。 ○SNSや携帯（スマホ）・ゲームについて、健康で安全な使い方を意識し、約束を守って使えるようにする。 ・メディアコントロールウィークを定期的に実施し、ICT機器利用と健康のバランスを考える機会を設ける。	・児童及び保護者、学校関係者アンケートで「挨拶」に関する項目の肯定的評価の平均を80%以上にする。 ・50m走の記録が向上した児童を75%以上にする。 ・メディアコントロールウィークの目標を達成できた児童を80%以上にする。
信頼される学校	児童・保護者・地域から信頼される「地域とともにある学校」を実現する学校経営を行う。	○地域と繋がる生活科・総合的な学習カリキュラムの工夫改善と積極的な情報発信	○地域の方と綿密に連携して生活科・総合的な学習の充実・発展を図る。 ○各種便りやHPで計画的に学校の情報を発信する。 ・学校だより【月1回以上】 ・保健だより【月1回以上】 ・学級通信【月2回以上】 ・HP更新【月4回以上】	・児童アンケート「田幸には自慢できることがある」「田幸のことをもっと知りたい」の肯定的評価90%以上 ・各種便りの発信回数目標を達成する。